

岡山県合唱連盟機関紙
トウツティ 第39号

発行責任者：岡山県合唱連盟

事務局長 内田 毅

事務局：岡山市福泊168-7

TEL.(086)274-2726/FAX(086)274-2730

Tutti

岡山県合唱連盟名誉会長

糸賀英憲先生御逝去

岡山県合唱連盟理事長 近藤安介

去る、平成十一年三月二十一日十九時十六分、岡山県合唱連盟名誉会長、糸賀英憲先生が急性心停止のため、岡山赤十字病院にて御逝去されました。

昭和二十年、広島女子高等師範学校助教授赴任のため帰岡されて以来、広島大学等に本職の傍ら、岡山放送合唱団、同交響楽団の設立、指導にあたられ、戦後の混乱の中で全国にさきがけ、岡山に音楽文化の種を蒔き、井を育てられました。

県合唱連盟理事長は昭和二十二年より五十八年まで三十六年間、全日本合唱連盟副理事長、同中国支部長、日本音楽教育学会副会長、岡山音楽家協会会長等を歴任、平成二年には「勲三等旭日中綬章」を受賞されました。

岡山の文化、特に音楽文化への貢献は、偏に先生のお力に負うところ大きく、とりわけ合唱活動への功績は計り知れないものがあります。

この度の訃報に際し、偉大な糸賀英憲先生を失ったことは、県合唱連盟としても誠に悲しく、残念であります。

県連七十五団体、一千二百人の会員は、生前の先生に深く感謝を申し上げ、心から弔慰を祈り哀悼の意を表します。



糸賀英憲先生の御逝去を悼んで

岡山県連盟理事長 片山 康雄

去る三月二十二日、元全日本合唱連盟副理事長、岡山県合唱連盟名誉会長の糸賀英憲先生が急性心停止のため、逝去なさったとの電話をいただきましたが信じられませんでした。

その翌日にはNHK放送合唱団（現岡山混声合唱団）のOB・OG会があったので、先生にお日にかかれることになっていたのです。その日がお通夜の日になるなんて……お通夜で先生の安らかに眠りになっておられるのを見ましたとき、何とも言えない思いが込み上げてきて、涙せずにはいられません。前日の電話はやっぱり本当だったのです。

糸賀先生は私たち岡山混声合唱団の生みの親であり、育ての親であるばかりでなく、戦後の荒れすさんでいた時代に、音楽を通じて私達の心に感動と生きる力を与えて下さいました。それ以来ずっと岡山の音楽会をリードして下さい、岡山県合唱連盟、岡山放送交響楽団などを設立され、岡山の音楽文

化に多人の貢献をなさり、また偉大な教育者としても活躍であったことは皆さんご存知の通りであります。

先生のご功績を上げればきりがないので、先生の思い出を少し書いてみたいと思います。私は岡大生の頃から合唱団で先生のご指導を受け、以来四十年以上お世話になりました。そしてこのほか私達の岡山混声合唱団には色々ご配慮下さり、毎年の定期演奏会には必ずご来場下さり、ご指導ご鞭撻をいただきました。

とにかく音楽に対する情熱はお若い頃から大変なもので、いつも厳しいご指導とお言葉をいただいております。が、音楽を離れるととても優しく思いやりのある心の広い先生でした。前記のように先達のお世話でOB・OG会が毎月一回あって、先生を囲んで酒を酌み交わしながら、ご馳走をいただきながら楽しく音楽談義や世間話に花を咲かせたり、ある時は世界の情勢はどうか、日本の政治はどうか、岡山の文化は……とか、ある時は嘆き、喜び、怒り……、話題に事欠かない楽しいひとときを過ごしてききました。

その会でのこと、二、三ヶ月前のことですが、私が先生にビールを注いでいると、先生が「おい、片山君、おめえはいくつになったんかのう。」「？」才になりました。「とやうと」「そうか、わしより二十才若いんじやのう。」「しっかり頑張れよ。」「などど優しい言葉をかけて下さいました。もう毎月のOB・OG会に出席しても先生にお会いできないと思うと本当に寂しい気がします。

実は去る四月十九日にもOB・OG会がありましたが、先生のお写真があるだけで……悲しみが募りました。
(以下次頁下へ)

「凄い奴らがやって来る」
第五十二回全日本

合唱コンクール全国大会

(中学校・高等学校部門)

十月二十日(土)・二十一日(日)

岡山シンフォニーホール

実行委員長 田 中 浩

先日、サッカーの世界ユース選手権大会があり、日本が堂々準優勝したことは、皆さんよくご存知のことだと思います。「今の若者は」とよく言われますが、今回の快挙は、一服の清涼剤で、私も久しぶりにわくわくしながら、テレビに釘付けになりました。萎縮することなく、堂々と一戦一戦、力をつけていった彼等の姿を見ると、まだまだ日本も捨てたものではないなと感じたものでした。サッカーという、世界で最もメジャーなスポーツだけに、マスコミも大きく取り上げたのでしようが、よく見回してみると、結構若い人達の活躍している場があるのではないのでしょうか。その一つが、この全日本合唱コンクール全国大会(中学校・高等学校部門)だと思います。サッカーで言うと、さしずめジュニアユースの部というところですが、このコンカールのレベルたるや、世界でも有数のものといっても過言ではありません。それも、上手な子供を集めた地域の合唱団と

かクラブというのではなく、学校という限られたものの中から生まれている合唱団が、このような高いレベルで演奏する大会というのは世界でも稀だと思えます。最近では、(大学・職場・一般の部)よりはよく券が売れるとか。

昨年私は、高校A部門で文部大臣賞に輝いた岩手県立不来方高校合唱団に、最初の受付から最後の着替えまで、ずっと付き添わせていただきました。今までに部分部分での接触はいろいろ経験はしましたが、ずっと通しての接触は初めてでした。最初から終わりまで指揮の先生一人で全ての事の采配をふる大変さ、音楽作りへの集中度、生徒達の自覚や行動力。毎年全田大会に出場している学校です。から、一つ一つの行動が当たり前のように行われていましたが、そこに至るまでの積み重ねや気配りに、成る程すごいなあと思嘆しながら見させてもらいました。このような苦役見れない事が見えるのも、全国大会の面白さではないでしょうか。この大会が終わると、もうしばらくは岡山には全国大会はこないとか。

さあ！皆さん方。今年は何を見つけてみましょう。

シンボルマーク募集

今秋、岡山シンフォニーホールで「第五十二回全日本合唱コンクール全国大会(中学校・高等学校部門)」が開催されます。実行委員会ではこの大会の意識を高揚させ、岡山で開かれるというイメージを盛り込んだシンボルマークを中学生・高校生を対象に募集します。奮ってご応募下さい。

①応募規定

大きさ：21cm四方以内
用 紙：白色の厚紙に書くこと
(カラー・5色以内)
内 容：「JCA」(全日本合唱連盟の通称)
FOR OKAYAMA 又は
FOR Okayama

以上の文字を含むこと
応募資格：中学生・高校生とする。
その他：別紙に住所・氏名・電話番号・年齢・学校名・学年・作品の簡単な説明を明記して、

②賞 入選1点 一万円の図書券
佳作2点 五千円の図書券
③応募締切：平成十一年六月末日
④発表：七月中旬に入賞者に通知
⑤その他：作品は返却しません。

作品には一部修正を加えることがあります。
作品の著作権は実行委員会に帰属します。

⑥送付先
〒703-1826
岡山県岡山市福泊1-8-7 内田方
岡山県合唱連盟事務局
TEL(086)274-2728 FAX(086)274-2730

(前頁から続く)

その日は先生のお嬢様が二人おいでになりました。先生には三人のお嬢様がいらつしやいます。末のお嬢様はお母様のお世話を受けていらつしやることか、欠席されてしまいました。当然のことながら追善の弔い酒を飲みました。先生は長女良子さんは先生そっくりに楽しく行動力のある方で、先生の生きざまやこの度の計報についても淡々とお話になっていました。「良子さんの横顔が糸賀先生にそっくりだね……」などと聞いていながらいっしょに賑やかな会になってしまいました。「父もこの方が喜ぶは。」と良子さんはおっしゃっていました。

良子さんは北九州のお医者様と結婚なさってもう五十三歳になられるそうです。北九州のご自宅にホームを建築されたとかで、「そこで追悼演奏をしましょう。」などと話し合ったところでした。

色々と思いは尽きませんが、先生のご逝去を悲しんでばかりはいられません。私達は今後ますますコーラスに励み、楽しみ、合唱界の発展と音楽文化向上のために少しでも貢献できるように頑張ることを心に誓いつつ……

先生の御冥福を心からお祈りいたします。

糸賀英憲先生を偲んで

岡山県合唱連盟理事
野口紀生

「おい！君(君)らあ……、何がや(合)りてー(合)うとんじゃー！」本場ドイツ仕込みの巻き舌、そしてドスの利いた大きな声で、私達の話に入ってきて、疑問を投げ分析し、内容を解き導いて行く。そう、私(私)らあが知らない所(レベル)での話等をうまくやって頂いて、私達を助け導いて下さった先生。そのひと声は力強く、又恐い声ではあったのですが、一度その懐に入ると、目頭の「君(君)らあ……」の声も、眼鏡の中に光る眼も思ひ遣りに溢れて、「まあ、君(君)らあ、わしの話も聞いてく(れ)れ」と前置きしての講義も、楽しいものとなり、つい引き込まれてしまったことでした。そんな中の幾つかを思いでと共に紹介したいと筆を取りました。

私が初めて先生と近くで顔を合わせたのは、昭和四十四年に理事に選ばれて理事会に出席した時です。会が終わった時、私を含む何人かの新任理事の所へつかつかと歩みよって来て、「おい！新しい理事さん。ご苦労さんじゃのお！新しい感覚でじゃのお、どんどん発言してくれ！」と声をかけて来られた。その当時、糸賀理事長の人柄等の情報収集では、「あの方は大変偉い人で、人呼んで、糸賀天皇」と言われとる、恐れ多くて物も言えん！」等と聞き、「どえらい恐ろしい人」と認識していた私だったもので、それから、声を掛けられた時、どの様な返事をしてよいか声も出なかつたのでした。しかしこの声掛けの一件で、私は恐い事は恐いが、何と人間的で頼れそうな人だと感じたものです。

その後、先生の恐さが噂以上である事が解るまでに、多くの時は要しませんでした。何しろ理屈で納得してもらえない事柄については、論議の対象にならない。先生がご存知ない事は、まずその情報から先生に説明する必要がある、電話で説明すると「まあ自宅へ来いよ」との返事。何うと厳しい質問が待っていた。がこの機会を上手く利用して他の問題にも話が広がり、そのうち「こりゃ、酒じゃ、飲んでみい」と酒も飲ませて頂いたり、話の内容の分析や、話のまとめ方、講評の方法を穏やかに話して頂きました。

少し時期が経った頃、そんな先生に「会議で意見が出しにくい」「末々の団員の事を知って下さっているか」「団員・団体等の悩み等を聞いて欲しい」等と連盟の隅々で聞かれ、数人の理事で話し合っていて(岡山県合唱連盟を考える会)なるものを作り県内四ブロックに分け、各ブロック持ち回りで意見を聞く会を企画したのでした。これが先生の耳に入り、少々怒りモードに入り「おい！何じゃーそりゃあ！」と呼ばれ、事実を申し上げ、その後も幾度となくご自宅に呼ばれたり、こちらから出掛け、恐る恐る申し上げると「そりゃあ君らあの考えじゃろうのう」と、そつけない返事も多かった事です。その中で、機関紙を発行したいと申し上げた事があり、早速に理事会で承認頂き発行の運びとなりました。(エコー)と銘付け、昭和四十六年に初刊されました。内容は現在の「トウツァイ」と似たものでした。

一九七七年は連盟創立三〇周年で、記念行事を是非と考え、記念誌の発行・式典の他、記念演奏会をやるうという事になった。そこで糸賀先生「おい、ありやあどうかい森の歌」いうのがあるんだか、オーケストラ伴奏で合唱があるんだ。岡警でやりやあ格好がつくだらう」と、オケの交渉をされ、連盟内は理事会等で組織づくりをという事で行っている考え。今の連盟の各々の行事の実行委員会の基本が生まれたと思えます。この時、前出の(考える会)のメンバーが上手く機能してこの大合唱を成功へ導く事になった。勿論、当時の事務局、理事諸氏、指導者の方々の協力も申すまでもありませんが、この事業の後は、また幾度となく先生のお宅に伺っていろいろお教を頂き、この(考える会)もこの事業を境に先生に受け入れてもらい

「君らあ、どう考えるかのヤ」と訊ねられました。この会の事は、しばらく忘れていたのですが、四十周年式典の折、先生がツカツカと私の前に来られて「おい！ありやあどうなつとるんだ？あの(考える会)とかいったらどう！」と言われました。ドキッノとして私が「いやあー今は……」と答えると「ありやあ、あれでよかつたよ。またやらにやあだめだな！」と先生。その後それっきりになりましたが、もしも今またその様な会、または活動が必要だと先生は思っておられるのかなと、真意はわかりませんでした。申し訳ないような気持ちになつた事でした。

さて、とめどない話になつたかも知れませんが、私の内に今も恐くて、頼って間違いのない人として、大きく正に偉大な先祖として存在し続け、この先如何に難解な諸々の事態にも力強く立ち向かわせて下さる事でしょう。どうぞ、高い座(まゝ)から、私共の活動を見守り、時々「おい！そ(君)りやあ君い、駄目だよー」「おーおー、そ(君)りやあおもし(君)ろい考えだー」と、得意(ハ?)の巻き舌でどうぞ正して下さい。

天に住まう

糸賀英憲先生 拝

コンサート情報

◆◆ボット・マム第6回定期演奏会

と き：平成11年6月12日(日) 14時開演

ところ：西川アイプラザ5階ホール(岡山市幸町10-16)

曲 目：女声合唱組曲「サラダ記念日」、中田喜直作品集、名曲の世界(Violinと共に)

入場料：無料

指揮：出口裕子/Piano:大池真理子/Violin:村上山美子

お問い合わせ：086-243-1238(西村)まで

◆◇99 JOINT CONCERT～真夏の桃源郷～

と き：平成11年8月5日(木) 18時開演

ところ：岡山市立市民文化ホール(岡山市小橋町1-1-30)

出演団体：岡山大学男声合唱団コール・コータス/東京工業大学シュヴァルベンコール

京都大学男声合唱団

曲 目：月光とピッコロ(京大)、黒人霊歌集(東工大)、日本民謡集(岡大)

IN TERRA PAX～地に平和を～(合同演奏) 指揮：上月 明/Piano:大池真理子

入場料：500円(前売り)、700円(当日)

コメント：男声合唱の迫力と響きが創る桃源の世界を是非お聴き下さい。

お問い合わせ：070-5521-3795(松木)まで

◆◆第22回全日本おおかあさんコーラス中国支部岡山大会

と き：平成11年6月20日(日) 13時開会

ところ：岡山市立市民文化ホール(岡山市小橋町1-1-30)

出場団体数：15団体

入場料：500円

選考委員：岡崎 順子/小寺 繁行/三好 恒明/古森 章夫/近藤 安介

8月21日、22日の全国大会(盛岡市)を目指して合唱技術を競い、華麗なパフォーマンスをくりひろげます。各団にチケットをお送りしていますので、是非聴きにお出かけ下さい。

お問い合わせ：086-274-2726(事務局)まで

◆◇第52回岡山県合唱コンクール

と き：平成11年8月1日(日) 11時開会

ところ：倉敷市芸文館(倉敷市中央1-18-1)

出場団体数：未定

入場料：500円

選考委員：小寺 繁行/洲崎 光一/中谷 和子/藤川 一芳/近藤 安介

8月28日、29日の中国大会(鳥取市)を目指して合唱技術を競います。各団にご案内をしますので、ぜひお越しください。

お問い合わせ：086-274-2726(事務局)まで

井つづちゃん通信

早いものでもう六月、ついこの間新しいカレンダーを釣り下げたような感覚ですが、

今年は何年と年間の事業日程が変わっています。まずこの時期に行っていた「倉庫フェスティバル」が九月十九日、岡山音楽祭の一環として開催されます。もう何十年も同じ時期に行ってきたから、各団の予定も決まっています。今年はずっと参加団体数が減るかもしれませんね。

中国コンクールは八月の最終日に開催されます。これも例年より一ヶ月早くなりました。しかしこれは、全日本の事業との兼ね合いで、来年度には従来の日程に戻ることになりました。日程が大きく変わると、練習の段階から影響が出ますので御迷惑をお掛けしていることと思いますが、各団で前向きに消化していただければ幸いです。

十月には全国コンクールがあります。今年も岡山県・岡山市から補助金が出ただけでありません。それぞの財政事情を考えるとある程度予想はしていたことでした。その補助金を補うために、皆さんに広告を取っていただくことになりました。各団連絡員に宛てて別紙でお願ひしていますが、最小枠がA4の1/8の大きさで二万円としていきます。一万円はどうか、こちらは名前のために協賛金制度を設けました。こちらは名前だけの掲載で五千円です。目標額百五十万円を達成できますようにお知り合い、取引先、お友達に声をかけていただき御協力をお願いします。

なお、岡山の合唱界に刺激を与えるために誘致した大会ですから、多くの関係者に会場を聴いて欲しいと思っています。ハーモニー七月号には入場券の申し込み方法が載ります。期限に経れないように申し込んで下さい。岡山からたくさんの方が出てくるように祈って抽選したいと思ひます。

最後に合編練習会について、六月に予定していましたが七月一日に変更しました。これも案内をお送りしていますので、大勢の参加を期待しています。講師は「大志万明子先生」です。